

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月8日  
東

上場会社名 株式会社モダリス 上場取引所  
 コード番号 4883 URL <https://www.modalistx.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 森田 晴彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 中島 陽介 (TEL) 03-6231-0456  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績 (2025年1月1日~2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	—	—	△632	—	△651	—	△652	—
2024年12月期第1四半期	—	—	△490	—	△457	—	△457	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △661百万円( —%) 2024年12月期第1四半期 △458百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△9.02	—
2024年12月期第1四半期	△13.57	—

(注) 1. 当社では、四半期連結損益計算書において事業収益として記載しているものを売上高と読み替えて表示しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	3,676	3,312	89.5
2024年12月期	3,691	3,548	95.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 3,289百万円 2024年12月期 3,526百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—	—	—
2025年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日~2025年12月31日)

2025年12月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから、記載しておりません。なお、当該理由等は、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	73,648,998株	2024年12月期	69,403,998株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	63株	2024年12月期	63株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 1 Q	72,326,490株	2024年12月期 1 Q	33,742,472株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P3をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、特に記載がないかぎり当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、関税などを含む米国の経済政策に大きく揺さぶられる結果となりました。これに伴い株式、債権、為替のすべてが大きく変動し、また景気後退懸念が持ち上がっています。世界の各地で継続する戦争や紛争も地政学的環境の見通しを悪くしているといえます。揺さぶりを受けた各国市場は警戒感を高め、製薬・バイオテックセクターにも影響を与えています。それに加えて米国政府の人員整理や政策変更も医療行政に及び、承認申請業務を含めた今後の医療業界への影響には不透明感がでていると言わざるを得ない状況です。

そんな情勢の中、当社グループは2016年の設立から10期目となりましたが、技術的基盤となるCRISPR-GNDM®プラットフォームを元に、世界初のCRISPRを用いた遺伝子制御治療を開発する会社として、今日に至るまでエピゲノム編集治療薬のリーディングカンパニーとして最先端の研究をリードし続けております。当社は最先端の技術による成果を結実させるべく臨床試験開始に向けた取り組みを当連結会計年度も継続しております。

当社のリードプログラムであり、先天性筋ジストロフィー1a型(LAMA2-CMD)を対象としたMDL-101は、引き続き治験申請に向けてGLP毒性試験及びGMP治験薬製造の準備を進めています。それぞれ外部のCROやCDMOと提携し、また外部のアドバイザーを交えて必要な治験薬および前臨床データの取得を目指しています。

またデュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療薬を目指すMDL-201は、新型キャプシドに換装した新型のMDL-201をパイロット製造し、病態モデルマウスにおいて検証を行っております。他にも筋硬直性ジストロフィー治療薬の動物モデルの評価結果を2025 Myotonic Dystrophy Foundation (MDF) カンファレンス(5月1-3開催)において発表しております。また米国遺伝子細胞治療学会(ASGCT)の年次総会(5月13-17日開催)においても発表を予定しております。

共同研究においてはJCRファーマ社と進める中枢神経系(CNS)疾患領域における提携で、初期の技術コンセプトの検証を達成したため、次のフェーズに進めることを合意し、新たな共同研究契約を締結しております。当社のパイプラインで先行する筋疾患領域だけでなく、CNS領域においても新たな技術へのアクセスを実現し、治療薬開発を進捗させております。

ファイナンス面においては、今後の事業を推進する目的で、第2回無担保転換社債型新株予約権付社債(転換価額修正条項付)、第14回及び第15回新株予約権(行使価額修正条項付)を昨年8月にEVO FUNDに対して割当を行いました。転換社債および第14回新株予約権は10月に全て転換および行使が完了し、本年1月に前倒し指示を行った第15回新株予約権も含め30億円超の調達が実現しております。これによりMDL-101の前臨床試験と臨床PoCを中心とした開発に必要な開発資金および事業運営資金の手当が実現できております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業損失632,884千円(前年同四半期は営業損失490,087千円)、経常損失651,776千円(前年同四半期は経常損失457,445千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失652,212千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失457,936千円)となりました。

なお、当社グループは、遺伝子治療薬開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産の残高は、前連結会計年度末に比べて10,176千円減少し、3,606,903千円となりました。これは主に、現金及び預金が15,285千円減少したためであります。

### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末の固定資産の残高は、前連結会計年度末に比べて4,514千円減少し、69,955千円となりました。これは主に、投資その他の資産が4,514千円減少したためであります。

### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債の残高は、前連結会計年度末に比べて225,492千円増加し、342,815千円となりました。これは主に、未払金が238,346千円増加したためであります。

### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末の固定負債の残高は、前連結会計年度末に比べて4,660千円減少し、21,487千円となりました。これは主に、その他が4,118千円減少したためであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて235,522千円減少し、3,312,555千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失発生に伴い利益剰余金が651,073千円減少したためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社の事業はパートナーとの交渉により進捗すること、ライセンスの契約一時金の事業収益によって当社の業績が大きく変動すること、新たなパートナーとの提携の可能性や新規のパイプラインの獲得の可能性等、当社の事業上の特性として現時点では業績に与える未確定な要素が多く存在します。また、当社グループの主な費用項目である研究開発費用については、ライセンスアウトや共同研究開発契約等の内容によって、当社グループ負担もしくはパートナー負担のいずれとなるのが決定されるために、事業収益と同様に未確定な要素が多くあります。

そのため、今後の見通しについては、適正かつ合理的な数値を算出することが困難であると考えており、業績予想は開示を見合わせることにしました。なお、今後の事業進捗を踏まえて、合理的な開示が可能となりましたら速やかに開示いたします。

## (4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、遺伝子治療薬の研究開発を行う創薬ベンチャー企業です。協業モデルパイプラインと自社モデルパイプラインを組み合わせた、「ハイブリッドモデル」のビジネスモデルで研究開発を進めることで収益機会の幅を広げ、事業の選択肢を最適化することで経営基盤の安定化を図る計画を有しておりますが、医薬品の研究開発には多額の資金を要し、その投資資金回収も他産業と比較して相対的に長期に及ぶため、継続的な営業損失の発生及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上している状況にあり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は引き続き9期にわたるCRISPRを用いた遺伝子制御治療薬の開発の知見を踏まえて、10期目以降もMDL-101を軸に研究開発を行っていきます。MDL-101プログラムの臨床試験開始に集中して事業を進めている中で、経営及び組織の効率化を図る一環として、米国子会社の研究・開発及び製造部門を2024年中に縮小しておりますが、人的リソースとしてはMDL-101を臨床に向けた取り組みを継続できる体制にあり、1日でも早く患者様の治療ができるよう開発を進めていく計画です。また、従来通り開発と並行してパートナーリングの交渉も継続してまいります。併せて、後続のパイプラインに関しても早期のパートナーリング獲得を目指しながら、引き続き研究開発体制の適正化を図り効率化によるコストの低減に取り組んでいきます。

資金面においては、当第1四半期連結会計期間末現在で、現金及び預金3,559,992千円を有しており、上記の取り組み

により、今後1年間の事業活動を展開するための資金は十分に確保していると判断しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,575,277	3,559,992
貯蔵品	141	133
その他	41,661	46,777
流動資産合計	3,617,079	3,606,903
固定資産		
投資その他の資産	74,469	69,955
固定資産合計	74,469	69,955
資産合計	3,691,549	3,676,858
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	79,338	317,685
未払費用	20,308	18,184
未払法人税等	16,496	5,253
その他	1,179	1,692
流動負債合計	117,322	342,815
固定負債		
役員株式報酬引当金	822	739
従業員株式報酬引当金	3,624	3,165
その他	21,701	17,583
固定負債合計	26,148	21,487
負債合計	143,471	364,303
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,758,987	1,970,588
資本剰余金	3,080,722	3,292,323
利益剰余金	△1,325,620	△1,976,694
自己株式	△97	△97
株主資本合計	3,513,992	3,286,120
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,337	3,539
その他の包括利益累計額合計	12,337	3,539
新株予約権	21,748	22,895
純資産合計	3,548,078	3,312,555
負債純資産合計	3,691,549	3,676,858

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
事業収益	—	—
事業費用		
研究開発費	422,604	571,613
販売費及び一般管理費	67,482	61,271
事業費用合計	490,087	632,884
営業損失(△)	△490,087	△632,884
営業外収益		
受取利息	7	1,295
為替差益	34,618	—
その他	7	3
営業外収益合計	34,632	1,298
営業外費用		
支払利息	1,032	815
為替差損	—	19,275
株式交付費	957	100
営業外費用合計	1,990	20,191
経常損失(△)	△457,445	△651,776
特別損失		
減損損失	188	—
特別損失合計	188	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△457,633	△651,776
法人税、住民税及び事業税	303	435
法人税等合計	303	435
四半期純損失(△)	△457,936	△652,212
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△457,936	△652,212

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純損失(△)	△457,936	△652,212
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△428	△8,797
その他の包括利益合計	△428	△8,797
四半期包括利益	△458,364	△661,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△458,364	△661,009

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、行使価額修正条項付新株予約権の行使に伴い、資本金が211,600千円、資本剰余金が211,600千円増加しております。これにより、当第1四半期連結会計期間末の資本金は1,970,588千円、資本剰余金は3,292,323千円となっております。

(会計方針の変更)

〔「法人税、住民税及び事業税に関する会計基準」等の適用〕

「法人税、住民税及び事業税に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、遺伝子治療薬開発事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)については、該当がないため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

新株予約権の行使による増資

当第1四半期終了後、2025年4月1日から2025年4月末日までの間に、行使価額修正条項付新株予約権の一部について以下の通り権利行使がありました。

(1) 発行した株式の種類及び株式数	普通株式	1,295,000株
(2) 増加した資本金		48,704千円
(3) 増加した資本準備金		48,704千円

これにより、2025年4月末日現在の普通株式の発行済株式総数は74,943,998株、資本金は2,019,293千円、資本準備金は2,774,293千円となっております。